

お知らせ

玄海原子力発電所の運転状況等について (平成19年度第2四半期)

平成19年10月29日
九州電力株式会社
玄海原子力発電所

玄海原子力発電所の平成19年度第2四半期の運転状況等について、以下のとおりお知らせします。

1 運転状況

プラント名	定格電気出力	運 転 状 況	発電電力量 (第2四半期)	設備利用率 (第2四半期)	備 考
玄海1号機	55.9万kW	通常運転中 (平成18年11月7日~)	12.6億kWh	102.4%	定格熱出力 一定運転
玄海2号機	55.9万kW	通常運転中 (平成19年5月16日~)	12.6億kWh	102.1%	”
玄海3号機	118万kW	通常運転中 (平成19年4月11日~)	26.5億kWh	101.6%	”
玄海4号機	118万kW	通常運転中 (平成18年12月15日~)	26.2億kWh	100.6%	”

2 トラブル情報

法令及び安全協定に基づく報告事象なし

3 その他

全国の事業者等で情報を共有し、それぞれの保全活動向上に資するため、日本原子力技術協会の原子力施設情報公開ライブラリー（ニューシア）に登録する情報（保全品質情報）

1件：(参考資料参照)

以 上

○日本原子力技術協会の原子力施設情報公開ライブラリー（ニューシア）に登録することにより、全国の事業者等で情報を共有し、それぞれの保全活動向上に資する「保全品質情報」の内容は以下のとおりです。

○なお、本事象は、発電所の運転や安全に影響を与えない事象です。

1. 件名：玄海1号機 放射線監視装置盤故障による運転上の制限の逸脱について
(平成19年9月12日及び9月14日 お知らせ済み)

2. 発生日：平成19年9月12日（通常運転中）

3. 概要

通常運転中、放射線監視盤の故障により、復水器排気ガスモニタ及び及び蒸気発生器ブローダウン水モニタが監視不能となり、保安規定の運転上の制限を逸脱していることを判断しました。その後、蒸気発生器ブローダウン水モニタを復帰させ、運転上の制限の逸脱を解除し、原因を調査を行いました。

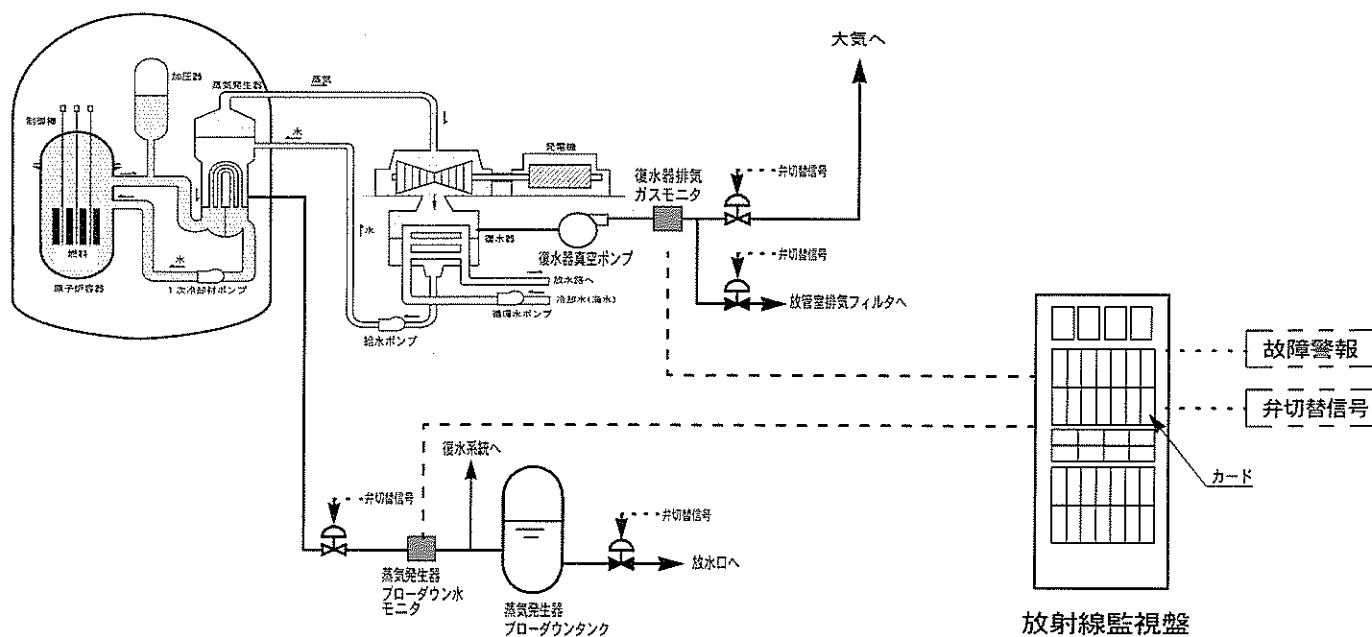
調査の結果、放射線監視盤の配線の一部に断線及び短絡が発生したことにより、盤の機能が喪失するとともに、カードが故障したものと推定されました。

4. 対策

・故障したカード及び配線等の取り替えを実施しました。

以上

概略系統図



○復水器排気ガスモニタ及び蒸気発生器ブローダウン水モニタ
：蒸気発生器の伝熱管からの1次冷却水の漏えいを検知する設備

○カード
：入力された信号を処理する電子回路